

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 瑞浪高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年5月28日(火) 13:30～15:30
- 3 開催場所 瑞浪高等学校 会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者
会長 山田 幸男 瑞浪市教育委員会 前教育長
委員 景山 助夫 瑞浪商工会議所 会頭(欠席)
三輪田 幸泰 瑞浪市議会議員(欠席)
伊藤 慶和 瑞浪市教育委員会 教育長
中山 英三 瑞浪市立瑞浪南中学校長
正木 英二 瑞浪市みずなみ未来部長
栗岡 洋美 中京学院大学短期大学部 准教授
渡邊 冬子 瑞浪市立一色幼稚園 園長
玉川 幸枝 合同会社プロトビ 代表
上野 真理 本校育友会長

オブザーバー 小川 祐輝 岐阜県議会議員
水野 光二 瑞浪市長(欠席)
石田 智久 本校同窓会長

学校側 伊左治 錦司 校長
堀 裕邦 教頭
相賀 栄寿 事務長
今井 典彦 教務部長(教務主任)
丸谷 利幸 進路支援部長(進路指導主事)
横井 雅代 生徒支援部長(生徒指導主事)
加藤 英美 保健厚生部長(保健主事)
瀬瀬 圭太 渉外部長
齋木 一美 生活産業部長(生活デザイン科主任)
守屋 美希 教務部(記録係)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和6年度教育指導の重点及び学校経営計画について

意見1: 卒業制作発表会の反響について

高校生の発表に影響を受け、自分たちの取組み・発表に活かそうとする

生徒がいた。今後も情報を発信してもらえるとよい。

意見2：卒業発表の様子を公開するようなアピールの場を増やしたらどうか。

意見3：情報モラル指導についての記載がない。生徒の安心・安全を守る機会として必要ではないか。

(2) 本校への提言

意見1：本協議会で、本校に対する熱意を感じる。

意見2：充実したカリキュラムである。昨年度の卒業式では答辞を読んだ生徒について、やり直しの機会を与える支援が充実している学校という印象をもった。

意見3：教職員に活気がある。車いす生徒に対して中学生を招く機会でも、ユニバーサルな高校であることをアピールしてほしい。

意見4：本校の地域連携プロジェクトは地域にも良い影響を感じる。

意見5：生徒の数が減っている現状の中でも尽力してほしい。大学でも多様性を感じる。高校から大学につないでいきたい。

意見6：生徒が生き生きと授業を受けている。何を学びたいかはっきりしている生徒への教育の充実が本校の魅力ではないか。以前の幼稚園実習でも、どうしたら幼児が楽しめるか高校生はたくさん考えていた。保育の仕事に興味を持ち、地元で働いてほしい。

意見7：本校入学志望者が定員を割り込んでいることが一番の課題である。対策や取り組みの検証が必要である。来年度はどうするかが毎年起こってはいけない。検証を多角的に組んでほしい。普通科は地域人材が魅力だが、保護者の魅力理解までつながっているかは不明である。実際の活動がどのように実って評価されているのかをアピールしてほしい。

意見8：生徒が自然とあいさつができています。今後も魅力として挙げてほしい。昨年の文化祭のアイデア一覧を見ても、本校で生徒の経験してきたものはとても心に残って充実したものであった。今年度の1年生や下の子にその魅力を伝えてほしい。

(3) 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。

本校入学志望者が定員を割り込んでいる課題と向き合い、今後も本校の教育を充実させるとともに、中学生とその保護者、地域の住民に魅力を伝えていく方針について共有を行った。